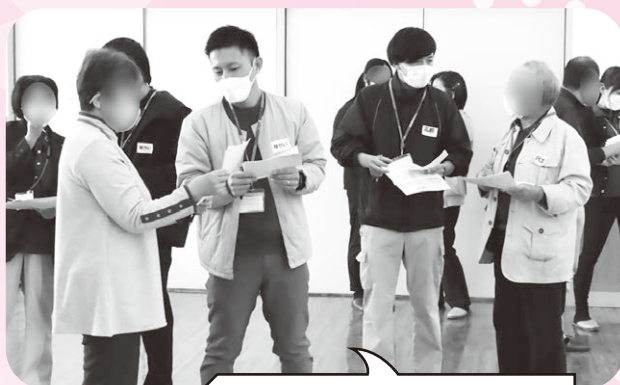


重層的支援体制整備事業 (おのまる会議)



福祉まるごと相談会

地域と支援機関のつながりづくり



研修交流会

分野を越えた支援機関同士の
つながりづくり

楽しみながらつながる 福祉のまちづくり

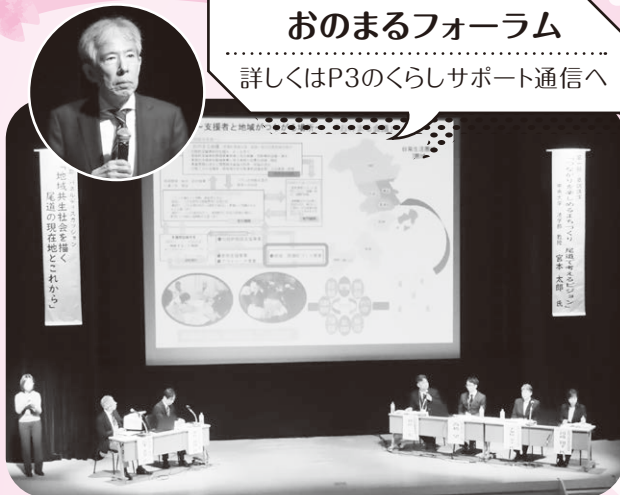
おのまる会議

官と民でつながる
課題解決の仕組みづくり



おのまるフォーラム

詳しくはP3の暮らしサポート通信へ



令和7年度 尾道市社会福祉協議会の事業計画と予算の概要

2025年は、団塊世代全体が後期高齢者となり超高齢社会を迎える「2025年問題」の年とされ、今後は継続する少子化とあわせて、人口減少、労働力人口の減少という大きな課題を抱えて行くこととなります。また、新型コロナウイルス感染症による影響が残るなか、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題、新たな大統領による米国の政策など世界情勢は不透明感に包まれています。加えて、頻発化・大規模化する自然災害に対する準備の必要性も高まっています。

高齢者の単身化の進行や、孤独・孤立問題が広がり、コロナ禍により人と人との交流や地域活動が制限され、価値観やライフスタイルの変化により個人主義が強まり、人間関係や地域コミュニティのあり方が大きく変化しています。

社会環境はどんどん変化し、福祉ニーズや生活課題は複合化・深刻化しています。生活困窮、孤独・孤立、子育て、認知症、ひきこもり等の様々な課題を抱えた住民が各種制度の狭間で支援を受けられない、どこに相談したら良いのかわからないといった状況に陥らないように伴走・支援していくことが社会福祉協議会の役割であると認識しています。

こうした複合化・深刻化した福祉課題に対応するために多様なコミュニケーションづくりに取り組んでいく必要があります。地域、行政、関係機関等と連携し「重層的支援体制整備事業」に取り組み、地域社会の持続性を高めることに貢献したいと考えています。

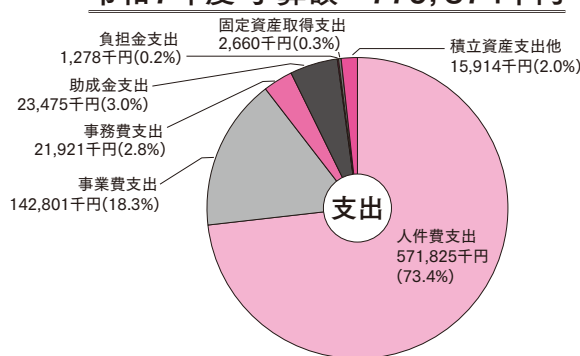
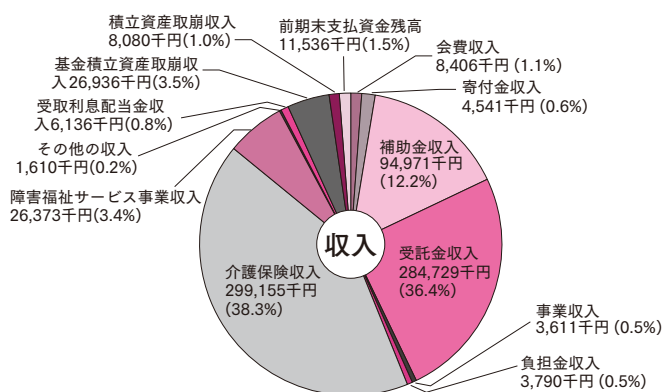
このほか、ひきこもり支援ステーション事業、まちかどフードパントリー事業、生活支援体制整備事業、小地域ネットワーク推進事業、生活困窮者自立支援事業、ボランティア養成事業、ふれあいサロン事業、認知症にやさしいまちづくり事業、子育て支援事業を、重点事業として継続いたします。

2年目となる「まちかどフードパントリー事業」は、地元企業・生産者や個人の方からの食品提供等の支援を得ることにより、必要な家庭に配布できる仕組みを整えます。

引き続き行政、各地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、社会福祉施設、NPO・ボランティアなどの多様な組織・関係者と重層的な連携・協働を行い、地域福祉活動に対する住民の理解を深め、住民参加と協力体制の充実を図ります。「児童、障害者、高齢者、生活困窮者」などの福祉分野・支援制度の枠や「支える側」「支えられる側」といった関係性を越えて、誰もが地域福祉活動に参加できるような地域共生社会の実現を目指してまいります。

介護サービス事業においては、収益性と費用対効果を考慮し、利用者の満足度向上と職員の働きやすさを両立させ、持続可能な事業運営を目指していきます。また、災害時の避難計画や非常時の対応について、机上訓練等を実施して職員の意識向上を図り、実効性のある防災対策を強化します。感染症対策については、利用者と職員の安全を最優先に考え、手洗い、マスク着用等の標準予防策を徹底してサービス提供を行います。

令和7年度 予算額 779,874千円



令和7年度 一般会計

福祉総合相談

場所：尾道市総合福祉センター 【予約受付：☎0848(21)0322 平日9～17時まで】

暮らしの中の心配ごとや悩みごとを、専門相談員がお伺いいたします。お気軽にご相談ください。

相談担当	相談日時	相談内容
法律(弁護士) ※毎月1日から予約受付	4/16, 5/21, 6/18 毎月1日から予約受付	13:00～16:10(約30分)
法律(司法書士)	5/8, 6/12, 7/10	13:00～16:10(約30分)
こころの悩みごと (傾聴ボランティア コスモス)	毎週月曜日	10:00～16:00
		財産・相続・金銭貸借・離婚等の法律に関すること 登記・相続等の手続きに関すること 悩みごと、心配ごとなど、じっくりとお伺いします。 電話でも相談できます。☎090-1684-2783

【くらしサポートセンター尾道】様々な理由で生活にお困りの方のご相談を受け付けています。お気軽にお問い合わせください。
受付日時＜総合福祉センター＞月～金（祝日、12月29日から翌年1月3日までを除く）9時～16時
ご相談、お問い合わせ ☎0848(21)0322 FAX 0848(22)9111 ✉ kurashi@onomichi-shakyo.jp

くらしサポート通信 vol.28

重層的支援体制整備事業開始記念 おのみちフォーラムを開催

3月3日(月)に重層的支援体制整備事業開始記念として、おのみちフォーラムを開催し、約150名の方々にご参加いただきました。

基調講演では、中央大学の宮本太郎教授より「つながり」と「楽しむ」をキーワードに、国が目指す地域共生社会の実現に向け、尾道市を新たなステージに進めるために必要なポイントを大変わかりやすくお話いただきました。

パネルディスカッションでは、尾道で行うおのみち会議の仕組みや取り組み、今後の展望や民生委員の視点からの感想・期待、県内の他市町の実践等をそれぞれ発表いただきました。

参加者からは「尾道の取り組みや現状を知り、楽しめるつながりの重要性を感じた。」等の感想を多くいただきました。

おのみち会議(重層的支援体制整備事業)とは、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制を構築することを目的に、相談窓口のワンストップ化や支援者の支援窓口、地域・分野を越えた連携体制を強化し、地域共生社会の実現を目指します。



生活支援体制整備事業 (支え合い上手な地域づくり)

支え合い上手な地域を目指して、地域住民同士で話し合っている「第2層協議体」の一部をご紹介します。

第2層協議体「せとだでくらそう会」

(令和5年6月30日発足)

「笑顔あふれ、つながりを大切にするまち瀬戸田」を目指し発足しました。瀬戸田町に住む75歳以上の方を対象に各地区社協の協力を得ながら、アンケート調査を実施し、ニーズ把握からスタートしました。現在は、アンケート調査結果を基に、「通いの場」について話し合っています。

「通いの場」の大切さを知っていただき、「つながり」「地域の支え合い」「健康寿命の延伸」を瀬戸田町で広げていきたいと思えます。



第2層協議体「支合せコネくぼ」

(令和5年8月3日発足)

久保地域では、地域の情報や課題について話し合ったり、毎年地域づくり研修会やイベントを開催しています。

昨年度の地域づくり研修会では、旧久保小学校の子どもたちと地域の課題や新たな取り組みについて話し合いました。また、3月には第2回久保ミニフェスタを開催し、子どもから高齢者まで地域の皆さんが楽しく交流できる場となりました。

これからも和気あいあいとした雰囲気を取り組みを進めていきます。



小地域ネットワーク活動実践発表会

3月5日(水)、地域で取り組む住民同士の支え合い活動の、実践発表会を開催し、約100名の参加がありました。

高須地区社会福祉協議会からは、「気にかける・支える・つながる地域」を目指して取り組んだ、「町内会に分散しての敬老会」や「地域のつなぎ役であるきずな委員のスキルアップ」、「サロン・カフェの継続・新設」について発表がありました。

その後の講演では、ノートルダム清心女子大学の中井俊雄准教授から「地域のつながりで支え合おう」をテーマに、地域活動を楽しむことや、世代を越えた交流、人とつながることの大切さなどについてお話いただきました。

地域づくりの必要性を感じた参加者も多く、高須地区の取り組みに感心し、参考にしたいとの意見もあり改めて自分たちの地域を考えるきっかけとなる発表会となりました。



よりあい広場

※尾道市在住の方ならどなたでも参加できます。

『阿波おどり』

優雅で華やかな踊りに酔いしれましょう♪

日 時 6月15日(日) 10:00～11:00
場 所 総合福祉センター4階 大会議室
演 者 しまなみ天風連のみなさん
定 員 100名
参加費 無料
申込方法 電話・社協窓口にて受付



障害者福祉センター

※尾道市在住の障害者手帳をお持ちの方が対象です。

「チャレンジクッキング」

知的障害者のための料理教室です。休日に美味しい料理を作って食べて楽しみましょう。毎月開催しています。

日 時 4月12日(土) 10:00～12:30
5月10日(土) 10:30～12:30
場 所 総合福祉センター3階 調理実習室
講 師 塩村 範秀さん
対 象 療育手帳をお持ちの方
参加費 500円(材料代)
定 員 10名(定員になり次第締め切ります)
持ち物 エプロン・三角巾・ふきん
申込方法 電話・社協窓口にて受付



児童センター

※児童センターは、0歳から18歳未満の子どもたちを対象とした施設です。(就学前の子どもは、保護者同伴)

子どもいけばな教室 受講生募集中!

2025年度も池坊山陽支部の進来せい子先生の生け花教室のお稽古が始まります。伝統文化「華道」の世界を体験し、おうちの中に季節ごとのいろいろなお花を飾って、日本の四季を楽しみましょう。

日 時 初回5月17日(土) 9:30～10:30
【5月～12月の月1回 土曜日 全8回】
場 所 総合福祉センター2階 会議室
講 師 池坊 山陽支部 進来せい子さん
参加費 8回分 6,000円(花材、諸経費込み)
※途中入会の場合は 1回800円×回数
持ち物 花ばさみ、筆記用具、花器、ごみ袋、花を入れる袋
対象者 尾道市内の小学生、中学生
定 員 50名
申込方法 電話・社協窓口にて受付



母子・父子福祉センター

※ひとり親家庭、子育て中の親子の方が対象です。

就労支援講座 受講生募集 医療事務講座



どなたでも受講できます(尾道市民・ひとり親家庭優先)

日 時 5月10日～9月27日 9:30～12:00
毎週土曜日 全20回
場 所 総合福祉センター
内 容 病院などの医療機関で働くために必要な知識や技能(受付・会計業務・レセプト作成など)を身につけ、資格取得を目指します。

講 師 (株)ニチイ学館
対 象 どなたでも受講できます
受講料 50,000円程度(テキスト代込)
※ひとり親家庭の方には助成があります。

定 員 10名(尾道市民・ひとり親家庭優先)
申込期限 4月24日(木)
事前説明会 4月12日(土) 10:00～11:00
※講座の内容や資格・仕事についての説明をします。
模擬講義も行います。(申込不要)

パソコン教室入門編

日 時 7月3日～9月11日 毎週木曜日
19:00～21:00 全10回
場 所 総合福祉センター
内 容 パソコンの基本操作、文章入力、簡単な表の作成等学習します。
講 師 尾道キャリアスクール
対 象 就労を目的とする方
(ひとり親家庭・尾道市民優先)
受講料 10,000円(テキスト代込)
※ひとり親家庭の方には助成があります。
定 員 10名(定員になり次第締め切ります)
申込期限 6月20日(金)



ひとり親家庭の交流会 「イスをリメイクしよう」

日 時 5月18日(日) 10:00～12:00
場 所 総合福祉センター
講 師 井川 照美さん
対 象 ひとり親家庭の方
大人だけでも参加できます。
参加費 1組 500円(材料代)
定 員 10組
(1家族でイス1つをリメイクします)
申込期限 5月7日(水)



まちかどフードパントリー尾道 開設記念講演会を開催しました。

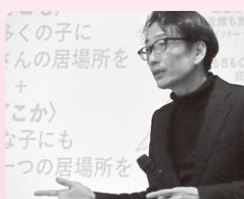
2月2日(日)講演会を行い、多くの市民の皆さまにご参加いただきました。まちかどフードパントリー尾道のしくみや専用アプリについて説明を行いました。

また、認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長 湯浅 誠さんをお招きし、「こどもの貧困と食の支援を通じたつながりづくり」をテーマにご講演いただきました。子どもだけではなく、様々な世代においても居場所・つながりづくりの大切さについて、湯浅さんのお母さまのエピソード等を例にとりとても分かりやすくお話いただきました。



参加者の声

- ・つながりの重要性を改めて感じた。
- ・居場所のもつ強み、意味が理解でき大切にしたいと思った。



因島・向島にも開設!

昨年、開設した「まちかどフードパントリー尾道」は、より身近な場所でご利用いただけるよう、新たに因島・向島に開設しました。

問い合わせ先：まちかどフードパントリー尾道
☎0848(22)2022

フードドライブにご協力いただき、ありがとうございます。

令和6年度のフードドライブでは、多くの方にご協力いただき、約450kgのご寄付をいただきました。ありがとうございます。今年度もフードドライブを予定しておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

お持ちいただきたい食品は、以下のような食料です

- ・お米 ・レトルト食品 ・インスタント食品
 - ・乾麺 ・調味料 ・菓子 ・缶詰
- ※2か月以上賞味期限があり、常温で保存できるもの
※未開封のもの
※食品の説明が日本語表記されているもの



受付場所は、尾道市
総合福祉センター 1 階
(くらし支援課)です。



寄付した食料はどうなるの?

寄付いただいた食糧は、子ども食堂やフードパントリーにお渡ししております。



いつ持って行ったらいいの?

年4回フードドライブを開催しておりますが、ご寄付は随時、受け付けております。お気軽にご連絡ください。

令和7年度フードドライブ開催日程

第1回	6/9(月) ~ 6/13(金)
第2回	9/8(月) ~ 9/12(金)
第3回	12/8(月) ~ 12/12(金)
第4回	3/9(月) ~ 3/13(金)

子どもの居場所に興味のある方、応援したい方、お気軽にご相談ください

子ども食堂や学習支援、フードパントリーなど、様々な子どもの居場所が尾道市内各地に広がっており、令和7年2月末現在では、約20か所の居場所が活動しています。尾道市子どもの居場所づくりネットワーク事務局では、子どもの居場所の立ち上げ相談から継続までサポートしています。子どもの居場所への寄付やボランティアも受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】

尾道市子どもの居場所づくりネットワーク事務局 (くらし支援課) ☎0848(22)2114



ホームページ

『こども食堂フォーラム in おのみち』を開催しました

2月16日(日)に“こども食堂の実態と意義”と題し、NPO 法人広島こども食堂支援センター理事長 越智 誠輝さんによる基調講演とこども食堂を運営する「楽だ食堂」(広島市西区)・「こども食堂れもん」(尾道市瀬戸田町)・「こども食堂たかすの波(WAVE)」(尾道市高須町)3団体の事例発表、こども食堂を開設するイメージ作りのワークショップを開催し、53名の方にご参加いただきました。

基調講演では、こども食堂の実態について、こども食堂は現在、全国で10,000か所以上に上り、広島県内でも200か所を超えるこども食堂が活動され、増加傾向にある。こどもだけでなく、高齢者の生きがいづくりになるなど「多世代交流の場」にもなっており、こども食堂は、タテヨコの関係ではなくナメにつながる柔らかな居場所だとありました。

こども食堂は“子どもの貧困対策ではない”“子どもだけでも来てイイよ”という場所で、大人だけでもいい、大人と子どもでもいいと誰でも集える場所だということを分かりやすくご講演いただき、“できるところから”と背中を押された参加者からは「私にも始められそう!」と前向きな声が聞かれました。



ボランティア体験学習 ～御調中央小学校6年生～

1月28日(火)御調中央小学校6年生32名を対象に、車いす・高齢者疑似・アイマスク・手話・朗読録音体験を行いました。

「介助ボランティアどんぐりの会」、「手話サークルひよこ」、「朗読録音ボランティアひばり会」のみなさんが、一人ひとりに丁寧に指導してくださり、充実した体験学習になりました。



保育ボランティア養成講座 御調地区

子ども好きな方、子育てに関心のある方、保育ボランティアとして活躍してみませんか?

日時 ①5月22日(木)/②7月10日(木)/③8月28日(木)
10:00～11:30(③は実習のため9:30～12:00)

内容 事故の対応(AED)方法、グループワーク
及び保育ボランティア体験実習

講師 ①日本赤十字社幼児安全法「こどもに起こりやすい事故の予防と手当」
②尾道市家庭教育応援プロジェクトチームすまいる
ぱれっと「子育てについて」
③保育ボランティア体験(子育てほっとサポート)

場所 みつぎいこい会館(御調町大田71-1)

申込締切 5月16日(金)

申込・問い合わせ先

社協御調支所 ☎0848(76)1231 FAX0848(76)2457



オレンジカフェ(認知症カフェ)の紹介

【喫茶かたふじ】

日時: 毎月第2月曜日 13:30～15:00

場所: いきいきサロン高根潮香園
(瀬戸田町高根595)



参加費: 100円

主催団体: オレンジメイトかたふじ

問い合わせ先: 尾道市南部包括支援センター

瀬戸田支所 ☎0845(27)3847

喫茶かたふじは、認知症の方やご家族の方、一般の方どなたでも集える場所です。会場には、BGMが流れており、和やかな雰囲気、相談やおしゃべりをしながら楽しんでいただけます。高根地区の昔の写真や書籍も机の上に置いてあり、昔話で盛り上がっています。最後には、参加者やスタッフがリクエストした曲を皆で歌って楽しい時間を過ごしています。皆さん是非一度、参加してみてください。



サロンに「大お多福の面登場」 “めだかの学校”

めだかの学校では、2月6日(木)節分祭が開かれました。なんと正面入口に、大きなお多福の面が飾られました。参加者の皆さんは、「ありゃー」とびっくり!! さっそく口の中を通りぬけ、厄除をしました。中には、これで今年は安心じゃ～と何回もくぐる人も。

当日の行事は、午前中に節分の由来の説明、豆まき傘踊りをして、昼食は、ひじきやいぎすの昔料理をおいしくいただきました。午後からは、春日大社(はるひたいしゃ)の宮司による恒例のお祓いをして、岩子島の昔話を聞きました。みんな若い頃に返って、昔の思い出に浸りました。



ご寄付ありがとうございました (令和7年1月11日～令和7年3月10日受付分)

寄付金の掲載につきましては、寄付者のご了承をいただき、掲載させていただいております。(敬称略、単位円)

【本所受付分】 (1月分) 深見 和志 (高須町 亡父 武志) 金一封 瀬尾 久重 (向東町 亡夫 重喜) 金一封 脇本 隆 (木ノ庄町 亡母 マツコ) 金一封 宮本 カヅ子 (西土堂町 亡夫 武) 金一封 長見 淳子 (西藤町 亡夫 敏行) 金一封 重森 幸男 (向東町 亡妻 富美子) 金一封 上谷 武士 (吉浦町 亡父 一典) 金一封 北畠 斗久夫 (向東町 亡妻 節子) 金一封 (2月分) 吉原 智枝 (向東町 亡夫 政治) 金一封 内海 栄治 (原田町 亡父 三真) 金一封 桑原 滋子 (栗原西二丁目 亡母 松岡シナ子) 金一封 土屋 クニエ (栗原町 亡夫 満) 金一封 山岡 親太郎 (美ノ郷町 亡母 マサ子) 金一封 板原 陽子 (美ノ郷町 亡夫 寿雄) 金一封 (3月分) 村上 宏江 (向島町立花 亡母 松浦千枝子) 金一封 山本 勝美 (栗原町 亡夫 憲昭) 金一封 匿名 (1件) 金一封 【御調支所受付分】 (1月分) 善福寺 山崎 彰慶 (御調町仁野 亡前住職 妹尾 成彰 和尚) 金一封 小川 博 (御調町平 亡妻 千佳子) 金一封 (2月分) 古木 正信 (御調町丸田 亡母 トシミ) 金一封 (3月分) 向井 紀子 (御調町津蟹 亡夫 政彦) 金一封	【向島支所受付分】 (1月分) 大出 弘子 (向島町 亡父 野間鉄夫) 金一封 出口 美由子 (向島町 亡夫 勇) 金一封 (2月分) 青木 勝哉 (向島町立花 亡父 迪裕) 金一封 吉本 昌雄 (向東町 亡母 里子) 金一封 力石 美智子 (向島町岩子島 亡夫 弘宣) 金一封 林原 邦光 (向島町 亡父 直登) 金一封 花谷 一信 (千葉県 亡父 一人) 金一封 根岸 友恵 (神奈川県 亡母 居阪智津子) 金一封 岡崎 智香 (向島町岩子島 亡母 英子) 金一封 (3月分) 福本 章夫 (向島町 亡父 正和) 金一封 原 浩次 (御調町市 亡叔母 良恵) 金一封 清水 真弓 (向島町 亡夫 高昭) 金一封 岡本 久美子 (向島町 亡夫 延博) 金一封 【因島支所受付分】 (1月分) 小林 鉄之 (因島中庄町 亡母 シヅエ) 金一封 斎藤 栄子 (因島大浜町 亡母 江上眞智子) 金一封 (2月分) 大出 謙吾 (因島大浜町 亡父 善亮) 金一封 植原 保司 (因島大浜町 亡弟 好寿) 金一封 田頭 誠也 (因島中庄町 亡父 良照) 金一封 柏原 功和 (因島田熊町 亡父 登) 金一封 村上 正志 (大阪府 亡父 政則) 金一封	【瀬戸田支所受付分】 (2月分) 宮本 悟郎 (瀬戸田町高根 亡母 貴美彌) 金一封 宮崎 一郎 (瀬戸田町高根 亡母 悦子) 金一封 一般寄付 匿名 4件 金一封 市社協指定寄付金(計) 956,000 地区社協指定寄付金(計) 810,000 物品寄付 精工堂 (因島土生町) 車椅子 1台 会費ご協力 ありがとうございました 市社協の運営に対しまして、ご理解とご協力をいただきました団体会員の方です。 (令和7年1月11日～令和7年3月10日受付分) (敬称略、順不同) 団体会員 瀬戸田町身体障害者福祉協会
--	--	--

社協会費へのご協力のお願い

尾道市社会福祉協議会では、「いつまでも暮らしたいこのまちであなたの笑顔が宝物」を法人理念とし市民の皆さまや地域の団体の方々のご協力をいただき、さまざまな地域活動、ボランティア活動を実施しています。

このような本会の活動に賛同いただける皆さまに、「会員」のご加入を任意でお願いしております。社協の活動にご理解いただき、会費へのご協力をよろしくお願いいたします。

世帯会費

1世帯 150円

賛助会費(個人・法人)

1口 1,000円

団体会費(福祉団体)

1口 3,000円

ご寄付のお願い

※寄付金は、税法上、寄付金控除の対象となり、優遇措置を受けることができます。

市民の皆様からの会費と合わせて、善意の寄付金も市社協の貴重な財源の一つです。

一般寄付、香典返しとしての寄付、物品寄付をいただいておりますが、一般寄付では、同窓会のグループの方からの寄付や、日々の生活への感謝としての寄付も届いております。寄付は、年間を通じて受け付けておりますので、皆さまのあたにかいお気持ちをお寄せくださいますようお願いいたします。

皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金

～市内小学校から協力いただきました!～

昨年度も尾道市内の各小学校で募金活動に取り組んでいただき、あたたかい気持ちのこもった募金を受け取りました。ブックスタートや出前福祉教室など、尾道で暮らす皆さんのために活用させていただきます。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



西藤小学校



因北小学校

高齢者の相談会

対象: 65歳以上の高齢者やそのご家族
 内容: 物忘れ・生活・介護保険・困りごとの相談など。
 物忘れのチェックもできます。

日時: 4月23日(水) 10:00～11:30

5月28日(水) 10:00～11:30

場所: イオンスタイル尾道 東入口

《問い合わせ先》

尾道市地域包括支援センター ☎0848(56)1212

尾道市西部地域包括支援センター ☎0848(21)1262

※会場にお越しの際は、マスク着用のご協力をお願いします。
 また、発熱や咳などの風邪症状、体調がすぐれない場合は来場をご遠慮ください。



ボランティア講習会受講生募集

～講習会修了後はボランティアとして活躍しよう～

手話奉仕員養成講座(入門・基礎)

～手話を学びボランティアをはじめませんか～

日 時 5月15日～2月19日 19:00～21:00

毎週木曜日(全36回)

場 所 総合福祉センター

◎テキスト代3,300円が必要です

(別途、動画視聴料1,760円がかかります)

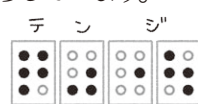
点字1日体験講座

点字ってどんなもの?と思われる方や、点訳ボランティアに興味のある方、ぜひ一度体験してみませんか。たくさんの参加をお待ちしています。

日 時 5月13日(火)

10:00～12:00

場 所 総合福祉センター



手話講習会(入門)

■尾 道

日 時 5月16日～9月12日 10:00～12:00

毎週金曜日(全17回)

場 所 総合福祉センター

■御 調

日 時 5月17日～7月19日 13:30～15:30

毎週土曜日(全10回)

場 所 みつぎいこい会館

■向 島

日 時 5月12日～9月22日 19:00～21:00

毎週月曜日(全17回)

場 所 向島愛あいセンター

■因 島

日 時 5月15日～7月17日 19:00～21:00

毎週木曜日(全10回)

場 所 因島総合福祉保健センター

◎テキスト代3,300円が必要です

(別途、動画視聴料1,760円がかかります)

点字講習会

～目の不自由な方に点字で情報を届けます～

※講習ではパソコンも使用します。

■尾 道

日 時 5月20日～7月22日 10:00～12:00

毎週火曜日(全10回)

場 所 総合福祉センター

■向 島

日 時 6月9日～12月8日 19:00～21:00

第2・4月曜日(全10回)

※時間・曜日は要相談

場 所 向島愛あいセンター

■因 島

日 時 5月14日～10月22日 18:30～20:00

第2・4水曜日(全10回)

場 所 因島市民会館

◎テキスト代 1,540円が必要です

朗読録音講習会

～目の不自由な方に、あなたの声で多くの情報を届けませんか～

■御 調

日 時 6月5日、6月19日、7月3日、
7月31日、8月21日
13:30～15:30 木曜日(全5回)

場 所 みつぎいこい会館

◎テキスト代300円が必要です

■向 島

日 時 6月13日～10月24日 10:00～11:30
第2・第4金曜日(全10回)

場 所 向島愛あいセンター

※パソコンに興味がある人

◎尾道、因島地域では9月以降に講習会を開催する予定です

ボランティア講習会の申し込みは、

☎0848(22)8385 または 申込フォーム から→



ボランティアに興味のある方、ご相談ください

♪人の役に立ちたい ♪興味はあるけど、どんな活動があるか分からない ♪ひとりで活動したい
♪誰かと一緒に安心 ♪何か学びたい など お話を伺い、あなたに合った活動をご紹介します。
また、要約筆記、読み語り、介助など、様々なボランティア活動の養成講座も開催予定です。
詳しくは社協だよりをご確認いただき、興味のある講座にご参加ください。

ご相談・お問い合わせはこちら 社協地域福祉課☎0848(22)8385 御調支所☎0848(76)1231
向島支所☎0848(45)2113 因島支所☎0845(22)6562 瀬戸田支所☎0845(27)3846



市社協だよりに関するアンケートにご協力ください。回答はこちらから→

